

平成30年第1回(3月)筑紫野市議会定例会会派代表質問

会派名	質問者	質問項目	質問項目
つくし野	大石 泰	1 国内外の政治経済情勢について	(1) 国内外の政治経済情勢等を受けて、どのような思いをもって平成30年度の市政にあたるのか。
		2 市政運営について	(1) 第五次筑紫野市総合計画の進捗状況は。
		3 「行財政改革」について	(1) 新庁舎について、ソフト面で市民サービスはどのように向上するのか、また、跡地利用はどう考えているのか。
			(2) 公共施設の維持管理について、個別施設計画とはどのようなものであり、どのような効果が期待できるのか。
			(3) 人材の育成について、技術職員の技術の向上と継承についてどのように考えているのか。
		4 「産業・雇用をつくる」について	(1) 商工業の振興について、ふるさと納税の実績と展望、企業誘致の状況は。
			(2) 農林業の振興について、今後の展望をどのように考えるか。
			(3) 観光の振興について、本市に伝わる史跡等を観光に活用してはどうか。
5 「生活をまもる」について	(1) 防災・減災対策について、危機管理課設置に懸ける「思い」や「ねらい」は何か。		
	(2) 高尾川床上浸水対策特別緊急事業の進捗状況はどうなっているのか。		
	(3) 健康づくりについて、大腸内視鏡検査を実施してはどうか。		
	(4) 高齢者支援について、認知症患者の状況や支援体制、さらには高齢者の居場所づくりの考え方は。		
	(5) 社会保障について、都道府県が国民健康保険事業を運営することに伴う、制度の変更点と市民への影響は。		
6 「共助社会づくり」について	(1) 地域コミュニティによるまちづくりについて、現在の状況と今後の展望は。		
7 「未来をつくる」について	(1) 地域公共交通について、どのような方針や考え方のもとでコミュニティバスの運行を検討しているのか。		
	(2) 筑紫駅西口土地区画整理事業について、今後の事業の見通しはどのようになっているのか。		
	(3) 子育て支援について、子育て世代包括支援センターを開設しては、また、保育士確保のための取組みの状況は。		
	(4) 学校教育について、コミュニティスクールと地域コミュニティの連携、不登校児童対策は。		
8 予算編成について	(1) 平成30年度予算について、市長が掲げる施策が実施できる予算となっているのか。		

平成30年第1回（3月）筑紫野市議会定例会会派代表質問

会派名	質問者	質問項目	質問項目
市民会議	辻本美恵子	1 市政を巡る情勢、平成30年度の課題について	(1) 乱高下を繰り返す株式市況、揺れ動く国家間関係など、不穏な内外情勢をどのように認識されているのか。
			(2) 物価だけが上昇し、収入が増えないなか、市民の頑張りを支え、応援する施策について市長の見解を伺いたい。
		2 「行財政改革」について	(1) 公共施設の個別施設計画の策定には市民の意見を聞くことが重要だと思うが、どのように進めていかれるのか。
			(2) 政策課題に即した組織づくりということであるが、そのためには職員の視察や研修の実施が必要ではないか。
		3 「産業、雇用をつくる」について	(1) 市に必要な人材を確保するために資格取得の推進を政策としてすすめてはどうか。
			(2) 地方創生交付金には、森林を活かしたプランもある。都市型森林活用を検討してはどうか。
			(3) 地域の観光資源を活かすための、シティプロモーションを担当する部署を設けてはどうか。
		4 「生活をまもる」について	(1) 健康寿命延伸をすすめるため、コミュニティ単位に保健師を配置してはどうか。
			(2) 地域包括ケアシステム構築に向けた課題と対策、市民の活動をどのようにとらえているのか。
			(3) 高齢者の生活援助の充実のため市独自のヘルパー制度の創設や、ヘルパー養成を検討してはどうか。
			(4) 人権尊重のまちづくりの総合的な取り組みに期待をしているが推進の基本的な姿勢について伺いたい。
			(5) 子ども貧困対策推進計画などの策定や公的制度を活用して支援する必要がある。市の考えを伺いたい。
			(6) 非正規職員の処遇改善と安定した雇用が必要であるが、見解を伺いたい。
			(7) 男女共同参画の推進について、どのような目標で推進されるのか伺いたい。
			(8) 被災対策にむけ、避難所運営ゲームの地域での実施や地域に配置できる防災士の育成が必要と考えるがどうか。
		5 「共助社会づくり」について	(1) 地域コミュニティが市民サービスを担うためには支える体制が必要ではないか。
			(2) 情報共有は重要なテーマ。新庁舎における情報公開室の在り方についての考え方を伺いたい。
		6 「未来をつくる」について	(1) 高齢社会に向かい、全体としての公共交通網形成はいつごろになるのか。
			(2) JR二日市駅前、西口との結節、市の玄関口としての景観整備や、歩道整備をするべき。市の見解は。
			(3) 子どもに関する保健・福祉の一元化は、何を目的としているのか。
			(4) 学校における教員の勤務時間の把握はできているか。また、業務改善のための方針や計画は策定しているか。
(5) 筑紫野市としての再生可能エネルギー政策をつくるべきではないか。			

平成30年第1回（3月）筑紫野市議会定例会会派代表質問

会派名	質問者	質問題目	質問項目
公明党 筑紫野市議団	佐藤 政志	1 防災・減災対策について	(1) 中小河川の水位計の監視の充実についてはどのようになっているか。
			(2) 急傾斜地のがけ崩れへの対策についてはどのようになっているか
			(3) 女性防災のリーダーはどのように育成しているか。
			(4) 大規模災害発生時に授業中や登下校時などの児童・生徒の安否確認の対策はどのようにしているか。
			(5) 避難勧告等の意識の向上についての取り組みは。
		2 観光振興について	(1) 観光情報発信の強化への今後の取り組み予定は。
			(2) 本市への外国人観光客の人数は。
			(3) 近隣の自治体と連携し魅力ある、「外国人向け観光ガイドブック」の作成予定はあるのか。
			(4) 本市への外国人観光客推進対策室の設置への考えはあるか。
		3 中小企業・小規模事業者の支援について	(1) 本市での、これまでの「ものづくり・商業・サービス経営力向上支援事業」の活用状況を伺う。
			(2) 「事業承継税制」について、どのように認識しているのか。
			(3) 相談体制の拡充について伺う。
		4 子育て支援について	(1) 日本版ネウボラ（子育て世代包括支援センター）の設置について伺う。
			(2) 「予防接種」日程スケジュール管理アプリ導入について伺う。
		5 高齢者支援について	(1) 「お出かけハンドブック」の作成の考えはあるか。
		6 健康長寿への取り組みについて	(1) 1日で野菜350gを摂取する啓発と取り組み内容について伺う。
			(2) 市民農園、家庭菜園の取組・推進の拡大が必要ではないか。
			(3) 野菜ジュース購入費の半額助成について伺う。
			(4) 「健康づくりポイント事業」は大切だと思うが、見解を伺う。
			(5) 「まちの健康相談窓口」の設置は市民に安心を与えると思うが、見解を伺う。
		7 教育問題等について	(1) 学校での高齢者や障がい者への接し方、教育の取り組み状況は。
			(2) SNSを活用しての「悩み相談窓口」が今、最も求められていると思うが、設置についての見解を伺う。
		8 手助け求めるヘルプカードについて	(1) 本市での「ヘルプカード」の配布状況は。
			(2) 本市での「ヘルプカード」の周知状況は。